

1. 教育目標

神経解剖学の基本的知識・実験研究を進めるための基本的手技を身につけることを目的としている。脊髄を含む中枢神経系のみならず、一次感覚ニューロン、自律神経系を含めた末梢神経系も、その研究対象とする。

特に神経系に存在し機能する神経活性物質の分子形態学的解析をメインテーマとし、機能との関連までを解明することを最終的な目標とする。

2. 到達目標

- (1) 神経系における活性物質の局在と機能解析に関する新知見を得る。
- (2) 神経障害に伴う活性物質の変化とその意義に関する新知見を得る。
- (3) シナプス可塑性の形態的基盤に関する新知見を得る。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

課題における試問（30％）、実験内容の発表（40％）、発表時の討議（30％）

4. 教科書・参考書

特に定めない。

5. 準備学習

予習としては関連文献を調べ、知識を身につけた上で授業・実習に臨むこと。（1時間以上）

復習としては、講義・実習内容を整理しノートなどにまとめること。（0.5時間～1時間）

6. 備考

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【神経解剖学】

曜日	時間	期間	単位	授業区分	項目	内容	担当者	場所
月	9:00～10:15	通年	4	講義	分子神経科学特論	中枢及び末梢神経系の可塑性に関わる遺伝子の発現調節機構	山中講師	セミナー室
	13:00～14:15	半年	2	演習	神経科学セミナー	研究経過報告、関連論文の抄読	山中講師 小林教育講師	セミナー室
水	9:00～10:15	半年	2	講義	神経科学総論	神経系の機能形態学	山中講師	セミナー室
	14:00～16:30	半年	2	実験研究	神経解剖学実験法	in situ ハイブリダイゼーション組織化学法	小林教育講師 大久保助教	第4研究室
木	14:00～16:30	通年	4	実験研究	神経解剖学実験法	動物行動測定法	大久保助教	第1研究室
金	13:00～15:30	半年	2	実験研究	神経解剖学実験法	各種動物実験モデル作製法	山中講師	第1研究室

(第1学年・夜間開講)

月	18:00～20:30	通年	4	実験研究	神経解剖学実験法	免疫組織化学法、凍結切片作製法	大久保助教	第3研究室
水	18:00～20:30	通年	4	実験研究	神経解剖学実験法	神経系の遺伝子発現調節解析法	山中講師	第4研究室
木	18:00～19:15	半年	2	演習	神経科学セミナー	研究経過報告、関連論文の抄読	山中講師	セミナー室
金	18:00～19:15	通年	4	講義	分子神経科学総論	神経系の分子生物学・細胞生物学	小林教育講師	セミナー室
	19:25～20:40	半年	2	講義	分子神経科学総論	神経系の分子生物学・細胞生物学	小林教育講師	セミナー室

(第2学年・昼間開講)

月	15:30～16:45	半年	2	演習	神経科学セミナー	研究経過報告、関連論文の抄読	山中講師	セミナー室
水	13:00～15:30	通年	4	実験研究	神経解剖学実験法	神経系の遺伝子発現調節解析法	小林教育講師 大久保助教	第4研究室
木	13:00～15:30	通年	4	実験研究	神経解剖学実験法	神経系の遺伝子発現調節解析法	山中講師	第4研究室
金	14:30～15:45	半年	2	演習	神経科学セミナー	研究経過報告、関連論文の抄読	小林教育講師	セミナー室

(第2学年・夜間開講)

月	18:00～20:30	通年	4	実験研究	神経解剖学実験法	トレーサー法	山中講師	第3研究室
水	18:00～19:15	通年	2	実験研究	神経解剖学実験法	in situ ハイブリダイゼーション組織化学法	小林教育講師	第4研究室
木	18:00～19:15	通年	4	演習	神経科学セミナー	研究経過報告、関連論文の抄読	山中講師	セミナー室
金	18:00～19:15	通年	2	実験研究	神経解剖学実験法	in situ ハイブリダイゼーション組織化学法	大久保助教	第4研究室